

ごあいさつ



京都市長

門川 大作

参加と協働による 持続可能なまちづくりを

「市民・区民が主役のまちづくり」

私は市長就任以来、この方針を軸に市政に邁進してまいりました。そして、未曾有のコロナ禍の中、改めてこの言葉の大切さを噛み締めています。

コロナ危機と、収支不均衡の構造が続いてきたことによる財政危機。本市は現在、そんな“2つの危機”に直面しています。同時に、人口減少や地球温暖化など様々な社会課題にも立ち向かっているところです。区民の皆様のお心強いお取組の一つ一つが、困難を乗り越え、より良い社会を目指すための大きな力となります。

この度策定した「中京区基本計画」は、中京の明るい明日への礎となるもの。本計画を基に、それぞれの地域の魅力やすばらしい「地域力」、「文化力」を、ふれあいとにぎわいの創出につなげていきます。ひいてはそれが京都市全体の未来を創ります。そして、オール京都で共に、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の構築に力を尽くしてまいりましょう。

最後になりましたが、本計画の策定に御協力いただいた方々、貴重な御意見を寄せてくださった全ての皆様に、この場をお借りして、心から感謝申し上げます。





目次

中京区基本計画について..... 3

1. 計画の位置付け
2. 計画期間
3. 策定方針と策定方法
4. 計画の全体像

第1章 まちの姿..... 5

第2章 まちづくりの課題..... 9

- 重点課題1：地域交流の促進 9
- 重点課題2：文化とにぎわいの創出 12
- 重点課題3：持続可能なくらしの実践 15
- トピック 京都市の厳しい財政状況 18

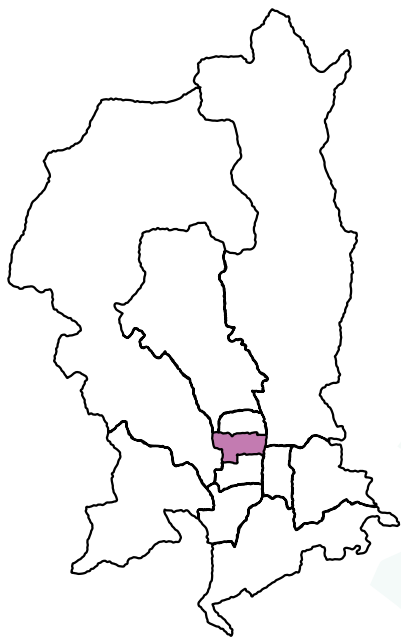
第3章 今後のまちづくりの方向性..... 19

第4章 目標実現に向けた戦略..... 23

- 戦略1：ポストコロナ社会に対応した
柔軟で開かれた地域組織づくり 23
- 戦略2：だれもが互いに認め合い、
支え合えるコミュニティづくり 25
- 戦略3：地域ぐるみでの子育て環境の充実 27
- 戦略4：地域ごとの歴史文化を生かした
個性あるまちづくり 29
- 戦略5：商い・ものづくり・学問のつながりが
生み出すにぎわいづくり 31
- 戦略6：安心・安全に住み続けられる
まちづくり 33
- 戦略7：持続可能なライフスタイルの
継承・発展 35

第5章 計画推進のしくみ..... 37

資料編..... 39



京都市

面積 **827.83**km²
人口 **1,475,183**人
世帯数 **705,142**世帯

中京区

面積 **7.41**km²
人口 **109,341**人
世帯数 **59,048**世帯

[資料] 総務省「国勢調査(平成27年)」

[注] 世帯数は一般世帯数を示す。

中京区基本計画について

1. 計画の位置付け

本計画は、区の将来像やまちづくりの目標を区民の皆さんや事業者、大学等と行政が共有し、まちづくりを進めていくための指針であり、それらのさまざまな主体と行政が共に汗を流して協働する「共汗型計画」です。

本計画は、「世界文化自由都市宣言」の都市理念の下、「京都市基本構想(グランドビジョン)」に基づくとともに、全市的な未来像と主要な政策を明示した「京都市基本計画」とは同列・相互補完の関係にあります。

都市理念(都市の理想像)
世界文化自由都市宣言



2001～2025年

京都市基本構想(グランドビジョン)

21世紀の京都のまちづくりの方針を理念的に示す長期構想



2021～2025年

京都市
基本計画

京都市基本構想の
具体化のために全
市的観点から取り
組む主要な政策を
示す計画



中京区
基本計画
(第3期)

京都市基本構想に
基づく区の個性を
生かした魅力ある
地域づくりの指針
となる計画



2. 計画期間

令和3(2021)年度～令和7(2025)年の5年間

※第1期：平成13(2001)～平成22(2010)年の10年間

※第2期：平成23(2011)～令和2(2020)年度の10年間

3. 策定方針と策定方法

本計画の策定に際しては、地域の各種団体の代表者や学識経験者等で構成する「中京区基本計画推進会議」で協議を重ねました。とくに、戦略の方向性や計画推進のしくみ等については、区内の各分野においてさまざまな地域活動をされている方を中心に構成した「中京区基本計画検討ワーキンググループ」を設け、集中的に協議を行いました。

また、区民の声を直接反映させるため、中京区の将来像を区民の皆さんで語り合うワークショップの開催、素案への区民意見募集、最終案へのパブリックコメントの実施など、策定の各段階において区民の皆さんに積極的に参画していただきました。

4. 計画の全体像

本計画は、まちの姿、まちづくりの課題、今後のまちづくりの方向性、目標実現に向けた戦略、計画推進のしくみの5つの章で構成しています。「共汗型計画」である本計画に掲げるすべての施策は、区民の皆さんや事業者、大学等と行政がそれぞれの役割を認識し、連携しながら進めるものであり、地域をよりよいものとするため、自治活動をはじめとしたまちづくり活動に積極的に参加することが期待されます。そして区役所には、区民活動が行われる基盤づくりや活動への支援が求められています。

本計画の全体像

